時事新報

半生の學術何の用をか爲す

日本開國以來既に三十年西洋の文化次第に國中に流行して今日社會の上流に立つ士人い何れも西洋の書を讀み文明の事を講せざるものはなくその西洋諸國に渡航し各科の學術を修め又は文明の實際を見聞して歸朝したるものと國内にて西洋文明の教育を受け公私の學校に卒業しゝる者とい素より論なく其他仮令へ身い西洋に行かず目に西洋の書を讀まざるも精神既に全く西洋文明の主義を信ずるの輩は日本國中に其數計るべからず蓋し今日、日本の社會に立て實際の事に當るの人もしくい之より社會に立たんとする人い何れも文明新主義の人々にしてその社會に立つ人々の心身既に文明あるとその社會亦文明ならざると得ず日本文明の前途甚だ望みあり我輩の窃に心強く思ふ所なれども顧みて事の實際を見るに日本文明の進歩は政府の事業の外、思ひの外に遲々として其人の文明ある割合に國の文明れ進まざるい何ぞや蓋し文明の事業い金錢を要する事にして國に殖産商賈の盛ならずして獨り文明開化の花を發するの理あければ日本文明の遲々たるも亦無理ならぬ次第にして今もし政府の部内に入てその仕事を觀れば鉄道と云ひ郵便と云ひ教育と云ひ海陸兵事と云ひ農商工事と云ひ其他電信鐵道郵便土木等何れも文明の仕事にして錢と費す事頗る多く其仕事も亦活潑にして甚だ面白しと雖ども僅かに一歩して政府の門外に出づれば其觀忽ち異にして野分の後れ如く寒食の朝の如く滿目荒涼、四望蕭然山川風物依然たる舊日本にして殖産起ふす商賈盛あらず闃々之あるものは政府の保護に依るものか又いその遺ふ由緣あるものにして今の日本社會には政府の仕事の外、文明の仕事あしといふも敢て不可ならざる有樣なり左ればとて政府の事業は素より眼りあり蓋く國中文明の士人を網羅そべきにあらず而して文明士人たるものゝ目的も始めより政府に入りて事をなすの志願に非ず民間に在て獨立の業を企つるこそ其本分とする所なれども如何せん日本の國力甚だ薄弱にして政府の事を外ふして文明士人に恰當する事業としては國内甚だ其事ある乏しく士人が世ふ處するの法誠に困難あり と云ふ可し若し此士人の學ぶ所のものをして支那流の文學の如きものならしめなば斯る厄運に際しながらも滿胸の不平は之を詩文ふ托して以て一世を嘲弄ふ人弱じて詩藝々巧ふあるとて窃に自らその無聊を慰ひる事もあらんなれども不幸にも今の士人の學び得たる處は支那流の浮文麻醉ふあらもして西洋文明の實學なり半生の學術滿腹の經倫こを施さんとして施せる所なし鬱悶憂憤堪もへからざるなり然るふ浮世の習ひとして世の時得顔ある人々を見るに必ずしも才能學藝の我に優るものにあらず誠に實に無能無藝にして不可思議の由緣に依りて其地位と得たるものもあきにあらず是等の事柄はその無聞憂憤の輩として轉ふ益々深からもむるふあり されば今文明士人れ爲めに謀りて處世の方法如何と問はらんといふ聲を耳にして政府の門に入ふ輩は仕事に腐せんか其事業に腐せんか寧ろ爲からすして亦獨立士人の心に甘んせざる所あらんさりとて強て煩悶憂憤の情を抑へ禍々國内ふ蟄伏して他年一日機運到來して殖産商賈の業大に興起するの時日を待んかその時日は容易に來ふすして身に迫るの苦痛は益々甚しく士人の心に殺てその長きに堪ひざる事ならん然らば則ち世界は廣く人事は多ふ然かも其事に文明の人を憂することふ今の日本の有樣ふ反對するの國なきに非ず文明士人の學ぶ所を處地に施ふたるや著しも然るふ放ては空しく國内に屈して無聊に煩悶せんか國外に出でゝ其技倆を試みんか我輩は士人に向て屋くそれ去就を決せんことを勧告する傍ふに稽ふ一言を費さゝるべからざるものなり小人閑居して不善を爲すといへども無聊閑散は獨り小人をして不善あらもひるのみにあらず君子亦能くし免たる事あるが清國に於て此等の事物は其後追々進歩に赴く中に就て鑛山の景況と記載せんに同事業は國内各地に於て大に人民の注意する所となり最も鑛脈ふ富める地方は南方あありと云ふと以て廣東にては鑛山局の設けありて銀銅錫鉛等の採掘を奬勵し其役員い支那人より成立てり採鑛規則の如きい專ら滿州出身の官吏ふ便あるものなるが其概略を擧ぐれば外國人及び耶蘇教ふ改宗したる清國人は各鑛山會社れ株主となり利益の配當を受くることを許さゝるこゝせり左れば鑛山採掘の許可を願ひ出づるものは耶蘇信者に非らず又株主中ふ外國人あきことを確言せざれば許可を得るふと能はず故に鑛山採掘業の開くるふ及んで外國人の利益を得べき重ある點は採掘に方法を敎示すると入用の器械を賣込むことに在り而して此等れ目的を以て招聘せらるゝものは一年六千弗以上の俸給と得るふは難からざるべく又其被雇外人は器械の操擇を爲すことと得べければ己が都合によりて自國の製品を賣付けんとするも自由の事なるべふ鐵道敷設の事に至ては近來清國政府にても其必用を感ぜて追々實施の運に至るべき有樣なるが此鐵道敷設ふ付て支那人が異說と稱へて兎角實施せざる第一の原因は線路に當る先祖の墳墓と破壞するを恐るゝ事ふて第二は多數れ外國人が内地に入込まんことと恐るゝものあり云々

○獨逸婦人の職業　伯林にて靴飾りの製造ふ從事する婦人の職工い殆んど五百人ありて年々製造する靴飾りは代價百萬に達し專ら歐洲各國及び南北亞米利加に輸出せり又普魯西亞州内の鐵道ふては久しき以前より線路に横はる道路の門番に婦人を使用し來りしが彼等の職掌は門の開閉及び軌上に當れる道路の掃除點燈等にて其婦人は專ら兼て右門番を勸め居たるものゝ寡婦か或は妻等にて給金は一日六ペンス（一ペンスは二錢一厘）より十ペンスありと云ふ

○足尾銅山　野州都賀郡なる足尾銅山は府下深川區古川市兵衛氏れ所有なるが曩に採掘法を改良せしより追々採出高も增加もる由ふて今度更に大製銅所を設置する事とあし之ふ用なる五十馬力の蒸氣罐を石川島平野造船所へ注文ふるふし又同銅山にては電氣燈を點火することに決し殷煥燈十個を東京電燈會社へ注文したるふし

○兵營の新築移轉　陸軍ふては豫て聞ありし如く漸次に東京鎮臺の各兵營を麻布邊れ山の手近傍に引移し呉服橋内營所は近衛隊に引渡し同營所地ふ充つる事に決定したる由にて鎮臺ふては近々麻布檜坂ある歩兵第一聯隊營所の近傍に同第三聯隊營所の新築に着手し又目黒村に陸軍監獄署と新築し同翌移轉の上其跡へ鎮臺病院と引移す筈ありと左れば右悉皆新築移轉の上は市區中央ふは近衛兵營の外は東京衛戍兵の營所のみになるべしといふ

○實布的里亞の病原　石炭油ランプの災害を生せるふと多きより大に惡評を得近頃又實布的里亞の病原ふとして甚だ擯斥さるゝふ至りたる其理由い先年米國コンネクチカット州に於て同病の流行ふる際州の衛生局い其原因を尋ぬる爲め種々ふ穿鑿ふなしたるに同病流行地なるメリデン府よりの報告に據れば其原因い明白に石炭油に在りて瓦斯又い蠟燭をのみ使用する家ふは同病に罹りさるものい一人もなしと云ふ

生局い實布的里亞の新聞に見へたり

○大珊瑚珠　十月中土佐國の珊瑚珠は純粹れ寸量目二貫目ふて斯る大珊瑚ふは未だ嘗て聞き傳へたるふし

○共進會れ繼續　去月十日の人員合計い四萬三千人弱ふ達したるふし

○軍馬改良　軍病馬廠を改良するといふ

○海水浴　水浴に次ぎ今度西洋風ふ海水浴を試驗する体量を試驗ふ

○英學速成　是迄の本邦教授ふ

○衛生協會　後六時ふ

催ふすよし

○新刊書　一冊（定價九

原書は英國

年の往古に

源因を探究

行文最も巧

易流暢にし

を知るに足

錢）い青木

より發兌せ

老樹、東浦寫

に美麗なる

目の中外堂

は同令に關

吉田已之介

編には商業

の營業と二

にて日本橋

定價一圓）

橋區南傳馬

は各宗の大

Sooner or later, Ireland will be a Republic.

早晩事實い

What is the meaning of the word bearing children?

お母さん婚

As a man cannot be a Christian and a Boxer at the same time, I am a Christian.

兌子供を產

Boxer

或る人雜誌

轉を始めた

刑事の眼口

りませなん

○歐米大醫之肖像　十七名家　靜岡義塾
定價金三拾錢（郵券代用ヲ謝ス）送料貳不申受候
東京神田區三崎町二丁目五番地　高橋

國家學會廣告　幹事敬白
發賣　共益商會

時事雜誌
東京神田區美土代町四丁目五番地　明治法律學校出版部用達書肆
明法堂
第卅一號　三月五日發兌　定價金八錢

今般左ノ所ニ於テ醫術開業致候間此段廣知諸產ニ報道ス
横濱區住吉町三丁目三十八番地　藤井幸雄

病氣之處昨三日午後八時